

平成 27 年度 事 業 報 告 書

公益財団法人 日本発明振興協会

当協会は昭和 28 年に「優秀発明振興協会」として創立、昭和 34 年 11 月 11 日「財団法人日本発明振興協会」として内閣総理大臣より設立の許可を受けた。昭和 48 年には現在地に日本発明振興会館を建設して当協会の目的である発明振興活動の拠点とし、旧科学技術庁をはじめとする諸官庁の指導のもとに科学技術の普及啓発と思想の高揚を図り産業の発展及び国民生活の向上に努めてきた。

平成 22 年 4 月には公益財団法人の移行申請を行い、同年 11 月 19 日に内閣総理大臣より移行認定書を受領し、同年 12 月 1 日に解散登記並びに設立登記を行うことによって新たに「公益財団法人日本発明振興協会」として再スタートした。

平成 27 年度においては、平成 26 年度に引き続き公益事業として 4 つの事業を柱に従来の発明振興及び普及の諸事業を継続実施した。

まず本部については、第 41 回「発明大賞表彰」事業において、平成 27 年 7 月～9 月に募集を行った案件に対し、予備審査及び審査を経て受賞者の決定を行い、平成 28 年 3 月 15 日に表彰式を行った。第 37 回「こども発明教室」は平成 27 年 5 月から約 8 ヶ月間、土、日曜日を利用して実施し、平成 28 年 2 月 7 日には修了式を行った。

「発明普及」事業としては、第 35 回「発明研究奨励金交付事業」を平成 27 年 5 月から 7 月に交付申請を受け付け、平成 27 年 11 月 18 日に交付式を行った。科学技術週間に参加し、平成 27 年 4 月 14 日に優秀発明発表会を開催した。また、交流及び見学研修会、会社説明会、講演会など種々の情報発信や、相談員による発明無料相談を行った。さらに、サイエンスランプについては、発明研究奨励金交付事業の第 35 回を記念し新たに電気ランプを制作するとともに、これまで制作したランプの普及を図った。「会誌発行事業」としては、機関誌「発明と生活」の発行を継続して実施した。その他、叙勲、国家褒章、文部科学大臣表彰等、各種表彰制度への推薦、新春賀詞交歓会を実施した。これら事業を、都産技研、科学技術振興機構との連携協力協定のもとに実施した。

関西支部においては、発明大賞表彰事業などの本部事業について協力するとともに、発明普及事業として、第 35 回優秀発明賞を実施し、また発明にかかわる異業種交流会、研修会などを実施した。

一. 本 部 事 業

1. 発明大賞表彰事業

日刊工業新聞社と共催の第 41 回発明大賞の表彰事業として、中堅・中小企業及び個人またはグループを対象に発明大賞、発明功労賞、考案功労賞、発明奨励賞を設定し、募集を行い、各賞を授与し顕彰した。平成 28 年 3 月 15 日に明治記念館において表彰式を行った。

発 明 大 賞 (4 件)

(1) 発明大賞本賞

「植物の特性を利用した防草技術」

石川 重規 殿

(2) 発明大賞東京都知事賞

「揚水用の地上設置型フート・バルブ」

(株)イシザキ 常務取締役 石崎 信之 殿

スモレンスキ・バルブ事業部 執行役員 千葉 和典 殿

(3) 発明大賞日本発明振興協会会長賞

「超音波バリ取り洗浄装置」

(株)ブルー・スターR&D 会長 柴野 佳英 殿

(4) 発明大賞日刊工業新聞社賞

「傾斜クランクピンをもつ「R- Θ テーブル」とメネジ加工法」

(株)エムエイチセンター 代表取締役 青山 進 殿

取締役 青山 剛 殿

発 明 功 労 賞 (7 件)

(1) 「ポータブル屈折旋光計」

(株)アタゴ 代表取締役社長 雨宮 秀行 殿

開発部 主任 田中 政之介 殿

(2) 「加圧による塑性流動を利用した異種材料接合技術」

久保金属(株) 代表取締役会長 久保 博一 殿

(3) 「高速溶接技術を搭載したテーブルスポット溶接機」

(株)向洋技研 代表取締役 甲斐 美利 殿

(4) 「足洗い用ブラシ及び洗浄具」

(株)サンパック 代表取締役社長 青山 総一郎 殿

(5) 「タンニンを用いた口腔内崩壊錠の製造技術」

テイカ製薬(株) 新製剤技術部 部長 島谷 隆夫 殿

新製剤技術部 主任 川岸 貴博 殿

(6) 「ロータ駆動機構及びそれを備えるポンプ装置」

兵神装備(株) 技術部 第2グループ 課長 榊原 教晃 殿

(7) 「粒径や粒内気泡の揃ったフェノール樹脂球状粒子の製造方法」

リグナイト(株) 取締役開発部長 井出 勇 殿
開発部 課長 西川 昌信 殿

考 案 功 勞 賞 (10 件)

- (1) 「流体中に超音波式検出部を浸漬挿設する高感度流量計」
アクアエイト(株) 技術部 取締役 田村 善胤 殿
- (2) 「注射スキル向上のための採血練習器具」
(株)ケー・シー・シー・商会 代表取締役社長 姫野 泰宏 殿
- (3) 「情報漏えいを防ぐ根源対策型セキュリティソフトウェア」
サイエンスパーク(株) 代表取締役 小路 幸市郎 殿
社長室 野崎 隆 殿
- (4) 「自由に移動可能な車両用洗浄装置」
(株)櫻川ポンプ製作所 技術開発課 課長 伊藤 史郎 殿
技術開発課 係長 豊嶋 卓次 殿
- (5) 「不正燃料の判別方法及び判別装置」
三晃精機(株) 専務取締役 笹岡 逸夫 殿
- (6) 「通信用サージ保護素子の異常検出回路」
(株)昭電 雷対策システム部 課長 鈴木 淳一 殿
雷対策システム部 課長代理 垣内 健介 殿
雷対策システム部 担当 黒田 和裕 殿
- (7) 「窒素を用いた食品酸化抑制凍結システム」
(株)昭和冷凍プラント 代表取締役 若山 敏次 殿
- (8) 「装身具用連結金具」
(株)セベル・ピコ 代表取締役 二宮 朝保 殿
- (9) 「リバーズアングルドクター搭載密閉型グラビア塗工装置」
富士機械工業(株) 社長室 相談役 富永 保昌 殿
生産管理部 製造課 係長 水野 孝洋 殿
開発部 技術開発課 係長 磯崎 徹 殿
- (10) 「フッ素系樹脂製高耐久性ベローズ」
淀川ヒューテック(株) 千葉工場 技術課 係長 栗辻 能央 殿

発 明 奨 励 賞 (1 件)

- (1) 「消弧装置付き直流電流遮断用小形スイッチ」
NKK スイッチズ(株) R&D 部 開発推進課 田中 勝広 殿
販売部 販売1課 江田 貴俊 殿

2. こども発明教室事業

第 37 回こども発明教室を会館地下 1 階を利用し、土曜日午後及び日曜日午前・午後に実施した。135 名入室し、専任講師 1 名、講師 20 名が交替で指導に当たった。平成 28 年 1 月 17 日に作品の審査会を行い、同年 2 月 7 日に修了式を行った。

3. 発明普及事業

(1) 発明奨励金交付

第 35 回発明奨励金事業を実施し、平成 27 年 11 月 18 日、日本発明振興会館に於いて奨励金を交付した。

交付対象となった試作・研究題目及び受領者は次のとおりである。

① 藻類抑制剤とその収納ケース・敷設器具

協同組合 AQUES 代表理事 八木 敏郎 殿

② 溶接型鋼の歪矯正装置

個人（有）細野鉄工所 細野 隆浩 殿

また、第 35 回を記念して新規サイエンストランプの電気トランプを制作した。

(2) 優秀発明発表会

科学技術週間に参加し、平成 27 年 4 月 14 日に第 40 回発明大賞受賞者 8 社による優秀発明発表会を JAM 金属労働会館にて開催した。

(3) 発明相談

発明に関する特許、技術その他の無料発明相談を行った。

(4) 交流及び講習会等

交流見学研修会

平成 27 年 10 月 8～9 日に、富士通沼津工場および大東カカオ中井工場との交流及び見学研修会を企画、実施した。

講演会

平成 27 年 12 月 2 日 東京商工会議所が主催した「勇気ある経営大賞」の受賞者を講師とする講演会--プロダクト・イノベーションの継続的実現をめざす（第 4 回）-を開催した。

発明と音楽の集い

広く一般の方々にも発明の重要性を身近に知っていただくために講演とコンサートを同時開催し、発明と音楽に親しんでいただく集いを昨年に引き続き（第 3 回）を平成 27 年 7 月 17 日 Hakuju ホールにて開催した。

講師：細野 秀雄（東京工業大学 応用セラミックス研究所 教授）

コンサート：奥村 智洋（ヴァイオリン）

サイエンストランプ

新規に電気トランプを制作するとともに、これまで制作した DNA トランプ、元素周期律トランプを含め全国の科学館等での普及に努めた。また、「科学の甲子園」「生物学オリンピック」「化学グランプリ」に参加した地方代表

の中学生、高校生に参加賞として提供した。また、渋谷区教育委員会、京都市教育委員会との連携のもと、中学校においてサイエンスランプを使った授業が行われ、その状況が東京新聞、地方紙等で掲載された。

4. 会誌発行等事業

機関誌『発明と生活』を6回発行した。発明研究奨励金35周年を記念した座談会を実施して掲載したほか、「第3回発明と音楽の集い」(東京工業大学 応用セラミックス研究所教授の細野秀雄氏の講演)はじめ、講演会、こども発明教室等、各種協会事業や会員の荣誉等について報告し、賛助会員及び関係方面に配布した。

5. 優秀発明功労者の推薦

(1) 国家褒章等への推薦 (3件)

該当する候補者を文部科学省に推薦し、下記の方が叙勲、褒章を受章した。

叙勲 (伝達式 平成27年11月10日)

熊倉 康雄 殿 クマクラ工業(株) 代表取締役社長

黄綬褒章 (伝達式 平成27年5月15日)

一場 駿 殿 (株)シーエスエンジニアズ 代表取締役

物部 長順 殿 (株)モノベエンジニアリング 代表取締役社長

(2) 文部科学大臣表彰への推薦

該当する3候補者を文部科学省に推薦したが受賞できなかった。

6. 発明振興表彰式及び新春賀詞交歓会

平成28年1月22日に発明振興表彰式及び新春賀詞交歓会を開催した。

7. 理事・評議員会など

(1) 平成27年度 第1回理事会 (平成27年5月28日)

第1号議案 平成26年度事業報告書(案)について

第2号議案 平成26年度決算報告書(案)について

第3号議案 役員の選任(案)について

第4号議案 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について

(2) 平成27年度 第1回評議員会 (平成27年6月16日)

第1号議案 平成26年度事業報告書(案)について

第2号議案 平成26年度決算報告書(案)について

第3号議案 役員の選任(案)について

(3) 平成27年度 書面による臨時理事会 (平成27年6月16日)

第1号議案 代表理事、執行理事の選任について

(4) 平成27年度 第2回理事会 (平成27年12月2日)

第1号議案 中間財務状況について

- 第 2 号議案 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規定について
- 第 3 号議案 発明振興表彰 表彰者について
- 第 4 号議案 サイエンスランプの制作と普及について
- 第 5 号議案 評議員会の日時及び場所並びに目的である事業について
- (5) 平成 27 年度 第 2 回評議員会 (平成 27 年 12 月 8 日)
 - 第 1 号議案 中間財務状況について
 - 第 2 号議案 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規定について
- (6) 平成 27 年度 第 3 回理事会 (平成 28 年 3 月 4 日)
 - 第 1 号議案 平成 28 年度 事業計画書 (案)
 - 第 2 号議案 平成 28 年度 収支予算書 (案)
 - 第 3 号議案 評議員会の日時及び場所並びに目的である事業について
- (7) 平成 27 年度 第 3 回評議員会 (平成 28 年 3 月 9 日)
 - 第 1 号議案 平成 28 年度 事業計画書 (案) について
 - 第 2 号議案 平成 28 年度 収支予算書 (案) について

8. その他事業

大学に協力し、中小企業活動についての会社説明会を大学の学生に対し行った。

平成 27 年 11 月 12 日 千葉工業大学

二. 関西支部事業

1. 発明普及事業

(1) 平成 27 年度 発明振興表彰式・第 35 回優秀発明賞表彰式・新年交流会の開催

平成 28 年 1 月 27 日メルパルク大阪にて発明振興表彰式・第 35 回優秀発明賞表彰式・新年交流会を行った。第 35 回優秀発明賞事業では、平成 27 年 5 月から 7 月までの募集後、平成 27 年 10 月 6 日に審査委員による審査を行った。

下記件数の表彰を実施した。

表 彰	関西発明大賞	1 件
	大阪府知事賞	1 件
	日刊工業新聞社大阪支社長賞	1 件
	日本弁理士会近畿支部長賞	1 件
	優秀発明賞	2 件
	考案賞	2 件
	アイデア賞	3 件
	奨励賞	1 件

(2) 発明交流会

偶数月の第 3 水曜日に発明にかかわる異業種交流会を開催した。

(3) 平成 27 年度交流及び見学研修会参加

平成 27 年月 10 月 8 日～9 日に本部企画の交流見学研修会に参加し交流を深めた。